



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社 エスライン
 コード番号 9078 URL <http://sline.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 (氏名) 山口 嘉彦
 (氏名) 白木 武
 TEL 058-245-3131

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 11,611 | △5.1 | 111 | △40.8 | 155 | △29.3 | 106 | △27.2 |
| 2020年3月期第1四半期 | 12,235 | 0.8 | 187 | △59.7 | 219 | △55.1 | 145 | △54.6 |

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 196百万円 (117.1%) 2020年3月期第1四半期 90百万円 (△77.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 9.78 | — |
| 2020年3月期第1四半期 | 13.20 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 39,911 | 23,907 | 59.9 |
| 2020年3月期 | 40,597 | 23,821 | 58.7 |

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 23,907百万円 2020年3月期 23,821百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 8.00 | — | 10.00 | 18.00 |
| 2021年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | 8.00 | — | 10.00 | 18.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|-------|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 23,550 | △5.3 | 327 | △41.7 | 388 | △35.9 | 157 | △49.5 | 14.48 |
| 通期 | 46,550 | △5.0 | 952 | △2.3 | 1,035 | △2.2 | 624 | △80.0 | 57.55 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2021年3月期1Q | 11,095,203 株 | 2020年3月期 | 11,095,203 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2021年3月期1Q | 253,488 株 | 2020年3月期 | 253,442 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2021年3月期1Q | 10,841,746 株 | 2020年3月期1Q | 11,031,757 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

※期末自己株式数には取締役に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」および当社の一部のグループ会社社員対象の株式給付制度「株式給付信託(J-ESOP)」のために設定した、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期1Q 135,400株、2020年3月期 135,400株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2021年3月期1Q 135,400株、2020年3月期1Q 63,100株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、インバウンド需要の急減や、約2か月にわたる緊急事態宣言による外出自粛要請に伴う人の移動制限や営業自粛要請等により社会経済活動が制限され、個人消費は大きく落ち込み、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後におきましても、収束時期の見通しが立たない中、国内経済の回復に向けた動きは停滞しております。さらに、主要都市を中心に新型コロナウイルス感染症が拡大する等、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、昨年の消費増税以降、消費活動が停滞したことに加え、今年度に入り、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、個人消費の低迷と企業の設備投資の見直しや抑制も続き、貨物輸送量は大きく減少し、回復の兆しが見えない深刻な状況が続いております。また、ドライバーを中心とした労働力の慢性的な不足や労働基準法遵守に向けた時間管理の徹底による輸送供給力の低下等の課題も多く、当社グループを取り巻く経営環境は非常に厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、2年目となります中期経営計画(スローガン:「“エスラインブランドの価値向上” Think next Value」)の経営目標達成と企業価値の向上に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益116億11百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益1億11百万円(前年同期比40.8%減)、経常利益1億55百万円(前年同期比29.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億6百万円(前年同期比27.2%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業等があります。主なサービス部門として「輸送サービス」「物流サービス」「ホームサービス」があります。

トラックによる企業間輸送を主とする輸送サービス部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により社会経済活動が制限され、あらゆる営業活動の自粛により、消費活動が滞った事や、海外からの輸入貨物が激減し国内輸送が減少する等、当社の主力事業であります特別積み合せ貨物運送事業の荷動きは低調となり、貨物輸送量は前年同期比で10%程減少し、減収となりました。

商品保管や物流加工を行う物流サービス部門では、昨年より稼働を開始した㈱エスラインギフと㈱エスライン郡上の新物流センターでの保管業務は順調に推移してまいりました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、巣ごもり消費が増加したことにより、菓子卸問屋や日用雑貨品の保管業務は増加しました。一方、海外からの商材調達に滞り、衣料品関連量販店や大手流通グループの専門店向け加工業務が大幅に減少したことにより、物流サービス部門全体では減収となりました。

大型貨物の個人宅配を行うホームサービス部門では、配送料金の改定に加えて、エアコンや冷蔵庫を中心とした白物家電の買換え需要増や、特別定額給付金による家電製品の購入もあり、配送および設置業務が大幅に増えて、収入増加に大きく寄与しました。

また、引越しサービスについては、単身・家族の引越しが大幅に減少しましたが、法人関係の事務所引越は順調に獲得できたことにより、ホームサービス部門全体では増収となりました。

以上の結果、物流関連事業全体では、減収となりました。

一方、利益面では燃料単価が安価で推移したことによる燃料費の減少と貨物輸送量の減少に加え、運行効率の改善による幹線備車や、土曜日・休日における集配作業の見直し等による、備車費の削減策を実行したことにより、備車費を中心とした外部委託費の減少に努め、費用全体は減少したものの、収入の減少を補うまでには至らず、減益となりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は114億24百万円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益は1億85百万円(前年同期比32.2%減)となりました。

[不動産関連事業]

不動産関連事業におきましては、当社グループ各社にて保有している不動産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。本年3月に㈱エスラインギフが外部に賃貸しておりました東京都江東区の土地および建物を売却したことにより賃料が減少いたしました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は1億8百万円(前年同期比12.1%減)、セグメント利益は52百万円(前年同期比13.6%減)となりました。

[その他]

主に、旅客自動車運送事業および売電事業を営んでおります。旅客自動車運送事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、遠出や外部との交流が制限され、クラブ・サークル活動等の貸切バスや冠婚葬祭時の送迎バス等、地元に着した運行業務が大幅に減少いたしました。

また、売電事業におきましては、㈱エスラインギフの名古屋第1・第2センター、豊橋支店、豊田支店、豊田センターおよび㈱スリーエス物流の本社第1センターの計6か所で発電を行っております。(総発電量1,333.96kW)

この結果、その他事業の営業収益は78百万円(前年同期比12.8%減)、セグメント利益は25百万円(前年同期比17.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の連結資産合計は399億11百万円となり、前連結会計年度末比6億86百万円減少しております。この主な要因は現金及び預金の減少と有形固定資産の増加によるものであります。

また、連結負債合計は160億3百万円となり、前連結会計年度末比7億72百万円減少しております。この主な要因は借入金の返済と流動負債のその他が減少したことによるものであります。

連結純資産合計は239億7百万円となり、前連結会計年度末比86百万円増加しております。この主な要因は有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による当社グループへの影響度合いの算定が非常に困難であることから、2020年5月8日に未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報に基づき算定いたしました。

詳細につきましては、本日公表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,298 | 5,709 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 5,665 | 5,522 |
| 貯蔵品 | 77 | 75 |
| その他 | 633 | 865 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 流動資産合計 | 13,674 | 12,172 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 9,541 | 9,431 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,676 | 2,571 |
| 土地 | 10,860 | 11,147 |
| リース資産(純額) | 120 | 110 |
| 建設仮勘定 | 1,222 | 1,851 |
| その他(純額) | 170 | 175 |
| 有形固定資産合計 | 24,592 | 25,288 |
| 無形固定資産 | 114 | 112 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,242 | 1,370 |
| 退職給付に係る資産 | 50 | 50 |
| 繰延税金資産 | 145 | 145 |
| その他 | 787 | 781 |
| 貸倒引当金 | △9 | △9 |
| 投資その他の資産合計 | 2,215 | 2,337 |
| 固定資産合計 | 26,922 | 27,738 |
| 資産合計 | 40,597 | 39,911 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 5,035 | 5,171 |
| 短期借入金 | 320 | 230 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,258 | 1,843 |
| 未払法人税等 | 334 | 100 |
| 賞与引当金 | 464 | 560 |
| 役員賞与引当金 | 17 | 6 |
| 設備関係支払手形 | 0 | 0 |
| その他 | 1,507 | 1,105 |
| 流動負債合計 | 8,937 | 9,018 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,803 | 900 |
| 繰延税金負債 | 2,538 | 2,577 |
| 役員退職慰労引当金 | 75 | 76 |
| 株式給付引当金 | — | 5 |
| 役員株式給付引当金 | 33 | 37 |
| 退職給付に係る負債 | 2,567 | 2,570 |
| 資産除去債務 | 502 | 503 |
| その他 | 316 | 312 |
| 固定負債合計 | 7,838 | 6,984 |
| 負債合計 | 16,776 | 16,003 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,237 | 2,237 |
| 資本剰余金 | 2,959 | 2,959 |
| 利益剰余金 | 18,578 | 18,574 |
| 自己株式 | △255 | △255 |
| 株主資本合計 | 23,519 | 23,515 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 297 | 385 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △1 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 4 | 7 |
| その他の包括利益累計額合計 | 301 | 391 |
| 純資産合計 | 23,821 | 23,907 |
| 負債純資産合計 | 40,597 | 39,911 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 営業収益 | 12,235 | 11,611 |
| 営業原価 | 11,601 | 11,090 |
| 営業総利益 | 633 | 521 |
| 販売費及び一般管理費 | 445 | 410 |
| 営業利益 | 187 | 111 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 14 | 14 |
| 受取賃貸料 | 6 | 5 |
| 助成金収入 | 3 | 18 |
| 持分法による投資利益 | 2 | 3 |
| その他 | 12 | 9 |
| 営業外収益合計 | 38 | 51 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 2 |
| 売上割引 | 0 | 1 |
| 債権売却損 | 4 | 4 |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 7 | 7 |
| 経常利益 | 219 | 155 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 6 | 7 |
| 特別利益合計 | 6 | 7 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 0 | 7 |
| 特別損失合計 | 0 | 7 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 225 | 155 |
| 法人税等 | 80 | 49 |
| 四半期純利益 | 145 | 106 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 145 | 106 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 145 | 106 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △58 | 88 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △1 |
| 退職給付に係る調整額 | 3 | 3 |
| その他の包括利益合計 | △55 | 90 |
| 四半期包括利益 | 90 | 196 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 90 | 196 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「追加情報」に記載した「新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り」について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|------------|-------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 物流関連 事業 | 不動産関連 事業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 12,021 | 123 | 12,145 | 89 | 12,235 | — | 12,235 |
| セグメント間の内部営業 収益又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 12,021 | 123 | 12,145 | 89 | 12,235 | — | 12,235 |
| セグメント利益 | 273 | 60 | 334 | 21 | 355 | △168 | 187 |

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△168百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|------------|-------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 物流関連 事業 | 不動産関連 事業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 11,424 | 108 | 11,533 | 78 | 11,611 | — | 11,611 |
| セグメント間の内部営業 収益又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 11,424 | 108 | 11,533 | 78 | 11,611 | — | 11,611 |
| セグメント利益 | 185 | 52 | 237 | 25 | 263 | △152 | 111 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、売電事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△152百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。